

主日礼拝

2024年04月14日
午前10時30分

前奏

参集 (報告・紹介・予定)

招詞

「これは主の御業
わたしたちの目には驚くべきこと。
今日こそ主の御業の日。
今日を喜び祝い、喜び躍ろう。」(詩編 118:23~24)

頌栄 26「グロリア」



信仰告白 使徒信条

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの主、イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりてやどり、処女マリヤより生れ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、陰府にくだり、三日目に死人のうちよりよみがへり、天に昇り、全能の父なる神の右に坐したまへり、かしこより来りて、生ける者と死ねる者とを審きたまはん。我は聖霊を信ず、聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪の赦し、身体のよみがへり、永遠の生命を信ず。アーメン。

祈祷

献金

主の祈り

天にまします我らの父よ、
ねがわくは み名をあげさせたまえ。
み国を来らせたまえ。
みこころの天になるごとく
地にもなさせたまえ。
我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。
我らに罪をおかす者を我らがゆるすごとく、
我らの罪をもゆるしたまえ。
我らをこころみにあわせず、
悪より救い出したまえ。
国とちからと栄えとは限りなくなんじのもの
なればなり。
アーメン。

賛美 32「キリエ・エレイソン」



キリエ・エレイソン キリエ・エレイソン キリエ・エレイソン

主よ、あわれみを 主よ、あわれみを 主よ、あわれみを

聖書 ヨハネによる福音書 21:1~14

新約(新共同訳)P211

1その後、イエスはティベリアス湖畔で、また弟子たちに御自身を現された。その次第はこうである。2シモン・ペトロ、ディディモと呼ばれるトマス、ガリラヤのカナ出身のナタナエル、ゼバダイの子たち、それに、ほかの二人の弟子が一緒にいた。3シモン・ペトロが、「わたしは漁に行く」と言うと、彼らは、「わたしたちも一緒に行こう」と言った。彼らは出て行って、舟に乗り込んだ。しかし、その夜は何もとれなかった。4既に夜が明けたころ、イエスが岸に立っておられた。だが、弟子たちは、それがイエスだとは分からなかった。5イエスが、「子たちよ、何か食べる物があるか」と言われると、彼らは、「ありません」と答えた。6イエスは言われた。「舟の右側に網を打ちなさい。そうすればとれるはずだ。」そこで、網を打ってみると、魚があまり多くて、もはや網を引き上げることができなかった。7イエスの愛しておられたあの弟子がペトロに、「主だ」と言った。シモン・ペトロは「主だ」と聞くと、裸同然だったので、上着をまっつて湖に飛び込んだ。8ほかの弟子たちは魚のかかった網を引いて、舟で戻って来た。陸から二百ペキスばかりしか離れていなかったのである。9さて、陸に上がってみると、炭火がおこしてあった。その上に魚がのせてあり、パンもあった。10イエスが、「今とった魚を何匹か持って来なさい」と言われた。11シモン・ペトロが舟に乗り込んで網を陸に引き上げると、百五十三匹もの大きな魚でいっぱいであった。それほど多くとれたのに、網は破れていなかった。12イエスは、「さあ、来て、朝の食事をしなさい」と言われた。弟子たちはだれも、「あなたはどなたですか」と問いただそうとはしなかった。主であることを知っていたからである。13イエスは来て、パンを取って弟子たちに与えられた。魚も同じようにされた。14イエスが死者の中から復活した後、弟子たちに現れたのは、これでもう三度目である。

賛美 206 「七日の旅路」

Safely through another week
詞：John Newton, 1725-1817 曲：Marcus M. Wells, 1815-1895 FAITHFUL GUIDE

な の か の た - び じ ま も ら れ あ - ゆ み、
 きょう また こ - こ に あ つ ま り い の る み め
 ぐ み の - 日 よ、 あ ん そ く の - 日 よ。

- | | |
|---|--|
| <p>1 七日の旅路 守られ歩み、
 きょうまたここに 集まり祈る
 み恵みの日よ、安息の日よ。</p> | <p>3 み名をたたえて 歌うわれらと
 復活のイエスは 共におられて、
 主の食卓に 親しく招く。</p> |
| <p>2 主の名に頼り 罪のゆるしを
 求める者に 平和を告げる
 み声聞く日よ、よろこびの日よ。</p> | <p>4 めぐり来るたび ここに集まり、
 神の言葉に 養われる日。
 み恵みの日よ、安息の日よ。</p> |

説教 「もう一度、イエスさまとご飯を食べて」

賛美 448 「お招きに応えました」

Lord, we have come at your own invitation
詞：Fred Pratt Green, 1903-2000 曲：Antiphoner, 1681 O QUANTA QUALIA

1 お ま ね き に こ た え ま し し わ た、
 2 主 を か か ん こ じ ゃ の の た の ま し た り。
 3 主 の も の き ん む に の ど の う た ん び に
 4 世 に 生 き る そ の の ち か ら の か す み
 と も た ら よん でい く だ - さ い る 主 よ。
 「イエ ス」をひ だ しし主と だ か - さ い をく た よ。
 み きぎ ひ だ いと り き め - は る と す き に
 あ た な た こ り そ の ち か ら の か す み
 そ の の い み ろ を を さ か ら に じ ゃ ん び
 み こ こ を に か な う じ ゃ ん び
 さ つ さ げ ま - す わ が ら す べ て を。
 ま か な え ま せ - す わ が ら す べ て を。
 え ら ば せ - て く だ だ さ い、主 よ。

- | | |
|---|---|
| <p>1 お招きに応えました、
 友と呼んでくださる主よ。
 あなたこそ 力の神
 ささげます、わがすべてを。</p> | <p>3 主のもとに集うたびに
 「イエスを主」と告白する
 その意味をさらに深く
 学ばせてください、主よ。</p> |
| <p>2 主を囲むこの交わり。
 新しい誓いをたて
 たかぶりの心を捨て
 仕えます、喜びをもって。</p> | <p>4 世に生きる その現場で
 右左 決める時に
 みこころにかなう道を
 選ばせてください、主よ。</p> |

派遣

司式者 主は言われます。
 「わたしは誰を遣わすべきか。」
 会衆 わたしがここにおります。
 わたしを遣わして下さい。

祝祷

アーメン

アーメン アーメン アーメン

後奏

司式 塩冶 みはる
 説教 向井 希夫牧師
 奏楽 福原 之織

※お立ちになるのが困難な方は、
 座ったままで礼拝をお守り下さい。
 ※讚美歌の最後には、基本的に「アーメン」を付けません。